

皇學館大學史學會講演会

日本における ポーランド人墓碑の探索

ワルシャワ大学東洋学部日本学科長

講師 エヴァ・パワシュニルトコフスカ先生

<講師紹介>

ポーランド共和国の首都ワルシャワ生まれ。1987年ワルシャワ大学大学院博士課程を修了（博士号）、1999年教授資格号（Doctor Habilitatus）取得。

1983年以来、数度にわたり日本へ留学し、東京大学（客員教授）、立教大学、防衛研究所戦史部などにおいて研究を進める。

御専門は日本近現代史。日本語訳の著書に『日本・ポーランド関係史』、最近『日本におけるポーランド人墓碑』を出版。皇室史、日本陸軍にも造詣が深く、今上陛下がポーランドを訪問されたときには、ワルシャワ大学での案内役を務めた。日本への理解の深い親日家である。

《主要著書・論文》

『日本・ポーランド関係史』（共著、彩流社、2009年5月、ISBN978-4-7791-1414-4）

『日本におけるポーランド人墓碑の探索』

（共編、ポーランド文化・民族遺産省文化遺産局、2010年、ISBN978-83-929227-7-3）

「日露戦争が20世紀前半の日波にあたえたインパクトについて」

（『平成16年度戦争史研究国際フォーラム報告書』所収、2005年）

日時 6月9日(木) 16:30～18:00

場所 621教室（6号館2階）

※ 聴講無料。事前のお申し込みは必要ございません。

※ 駐車場の御用意は致しかねます。



※ 本件に関するお問い合わせは、文学部国史学科研究室（3号館3階、学内線6456）まで。